



2023年2月9日

各 位

会社名 株式会社フレクト
代表者名 代表取締役CEO 黒川 幸治
(コード番号：4414 東証グロース)
問い合わせ先 執行役員コーポレート本部長CFO 塚腰 和男
TEL. 03-5159-2090

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年2月9日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2022年5月12日に公表しました2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

1. 2023年3月期通期業績予想の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	4,772	386	382	275	94円12銭
今回修正予想（B）	5,218	201	198	161	55円15銭
増減額（B－A）	445	△185	△184	△113	
増減率（％）	9.3%	△48.0%	△48.2%	△41.1%	
（参考）前期実績 （2022年3月期）	3,642	256	240	266	99円19銭

2. 修正の理由

当第3四半期累計期間において、旺盛なDX支援の引き合いを背景に、既存顧客の取引拡大に注力した結果、過去最高の四半期及び第3四半期累計売上高となりました。大手企業（注1）の「四半期契約顧客数（注2）」は34社（前年同期は34社。前四半期は37社）となり、大手企業の「顧客当たりの四半期平均ARPA（注3）」については35.5百万円（前年同期は23.2百万円。前四半期は30.2百万円）と大幅に増加して推移しております。

一方で、当第1四半期会計期間に発生したプロジェクト品質低下に起因した一過性のコスト増の事案は収束したものの、当第3四半期会計期間において、新たに、開発リソースの追加を要するプロジェクトが発生し、プロジェクト損失（原価）を91百万円計上したため、各段階利益を押し下げることとなりました。詳細については、本日公表の「プロジェクト損失に関するお知らせ」に記載のとおりです。

以上の状況により、上記のとおり通期業績予想を修正いたしました。

（注）

1. 大手企業：日経225、日経400、日経500のいずれかに採用されている企業、または当該企業のグループ企業や当該企業に準ずる売上（1,000億円以上）規模の企業
2. 四半期契約顧客数：再販案件を除いた四半期会計期間における契約顧客数。再販案件とは当社が仕入れたライセンスを顧客に再販売するリセールにあたり、当社においては金額が僅少なため、当該顧客は除く
3. 顧客当たりの四半期平均売上高（ARPA）：Average Revenue per Accountの略（顧客当たりの平均売上高）で、再販案件を除いた顧客当たりの四半期平均売上高。再販案件を除いた四半期売上高÷四半期契約顧客数により算出

※ 本資料に記載された業績予想は、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上